

平成27年度 学校関係者評価

学校自己評価システムシート

(熊谷市立妻沼南小学校)

| | |
|--------|--|
| 目指す学校像 | 「みんな仲良く」「なんでも頑張り」「みずから学ぶ子」を学校・家庭・地域の連携のもとに追求する学校 |
|--------|--|

| | |
|------|--|
| 重点目標 | 1 児童一人一人に基礎基本を確実に身につけさせ、自ら学び、よりよく問題を解決する能力を育成する。 2 人とのかかわりを大切に、「思いやりの心」を育成する。 3 個々の体力の向上を図り、生涯にわたって運動する児童を育成するとともに、安全意識の高揚を図る。 4 快適で意欲を高める環境づくりに努めるとともに、保護者や地域社会との相互理解を深める。 |
|------|--|

| | | |
|-----|---|--------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成 (9割以上) |
| | B | 概ね達成 (8割以上) |
| | C | 変化の兆し (6割以上) |
| | D | 不十分 (6割未満) |

| | | |
|-----|----------|----|
| 出席者 | 学校関係者 | 4名 |
| | 事務局(教職員) | 2名 |

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | | | 学 校 関 係 者 評 価 | |
|-------------|----------------------------------|--|--|--|-------------|---|---|--|
| 年 度 目 標 | | | | 年 度 評 価 (2月19日現在) | | | 実施日 平成28年2月19日 | |
| 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成 | 次年度への課題と改善策 | 学校関係者からの意見・要望・評価等 | |
| みんな仲良く | 豊かな心の育成 場に応じた言葉づかい | ①縦割り活動(週1回)、集会、学校行事を通して、お互いを尊重できる子を育成する。(90%) ②道徳教育、学級活動の授業、「ふわふわ言葉」の作成と掲示 | ①職員・保護者のアンケートで、「できている」と感じているか。 ②道徳教育、学級活動の授業を充実し、思いやりのある言葉を使える子を100%にする。 | ①職員83% 保護者99% 縦割り活動28回実施 ②職員68% 保護者72% 「ふわふわ言葉」の作成と掲示を実施 | A C | ○小規模校の特色で継続して取り組む ○教師の見守り、見届け ○児童への振り返りの実施。継続的な声かけの実施 ○ふわふわ言葉の作成と掲示継続 | ・小規模校で、先生方が子供たちみんなの名前を知っているのはよい。また、子供たち同志も知っていて、アットホームな雰囲気がある。 ・小規模校で、先生の目が行き届いている。地域の方も南小はいい学校だと思っている。 | |
| なんでも頑張り | 基礎体力の向上 清掃活動の充実 | ①低・中・高学年ブロック体育を充実し、体育好きな子を100%にする。 ②合同体育の継続、スポーツタイムの充実を図り、業間運動の目標を達成を100%にする。 ③清掃指導を工夫し、学校をきれいにする。(掃除の仕方集会、反省カード、掃除チャンピオン) | ①職員・保護者のアンケートで、「できている」と感じているか。 ②新体力テストは、県の平均よりも上回る項目80% ③職員・保護者のアンケートで、「できている」と感じているか。 | ①職員80% 保護者86% ②県の平均よりも上回る項目74% (男子36/48 女子35/48) ③職員64% 保護者79% 「うちの子はこんなに輝いていました」10号発行 | B A C | ○ブロック体育の見直し(運動量の確保) ○体育授業の充実(準備運動での弱い部位の強化) ○スポーツタイムの充実(サーキットコース設定) ○無言清掃の実施 ○「うちの子はこんなに輝いていました」の発行継続 | ・先生方が意識して外遊びを奨励してるのはよいことだと思う。 ・家庭での経験が乏しいので、学校でしっかりと指導することが大事だと思う。 | |
| みずから学ぶ子 | 学習の基礎基本の定着 学習規律の確立 読書活動の推進 | ①学ぶ楽しさのある学習活動を設定し、学習意欲を喚起する。 ②南小ステップを活用し、職員の共通理解を図り、学習の準備・発表の仕方・姿勢等100%にする。 ③読書カードを工夫し、マイチャレンジゴールを達成させる。 | ①体験的な学習を各学年に設定できたか。 ②職員・保護者のアンケートで、「できている」と感じているか。 ③低学年100冊、高学年5000頁を達成できた児童が80%となったか。 | ①サイエンスショー、路線バスでの社会科見学、生活科・総合学習での町探検。落語鑑賞会、音楽鑑賞会、夢と心を育む事業等。 ②学習規律 職員72%保護者78% 姿勢 職員64%保護者59% ③低学年100冊 高学年5000頁 } 75% | A C A | ○授業参観後のふれあいお楽しみ会の充実 ○各種事業への積極的参加を促す ○南小ステップの共通理解と共通行動の徹底 ○家庭と連携し、100%達成を目指す | ・様々な経験は必要である。子供たちの意欲にもつながるので充実させて欲しい。 ・学習の規律や姿勢は大事なことだと思う。全職員で一丸となって取り組んで欲しい。 ・マイチャレンジゴールのように、目標をもって努力していく取り組みを続けて欲しい。 | |
| 保護者・地域との連携 | 校内・校外でのあいさつの励行 4つの実践3減運動の推進 | ①代表委員によるあいさつ運動の推進・あいさつカード等の活用。 ②家庭学習ができる子100%にする。(15分×学年) | ①登下校時スクールガードさんや来校者へのあいさつ100% ②職員・保護者のアンケートで、「できている」と感じているか | ①職員70% 保護者81% 毎週代表委員があいさつ運動(あいさつレンジャー) ②職員77% 保護者75% | C C | ○あいさつレンジャーの活用 ○継続指導(教師が手本となって) ○家庭学習の方法を指導 | ・校内ではよくあいさつができるが校外ではできない。できる子とできない子の差が大きい。大人が手本となるようにしたい。 ・スクールガードさんは色々な意味で抑止力になっている。 ・得意、不得意があるので宿題の量は難しい。家庭の協力が必要だと思う。子供にはゲームを持たせない方がよいと思う。 | |